USA's primary source for projector lamps

myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

MX666+

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

mplamps.co.jp
プロジェクターランプ業界最大級のオンラインショップ

プロジェクターランプの交換時ですか？

お使いのBenQ MX666+の交換用ランプは、現在入手可能です。



BenQ MX666+プロジェクターランプ

部品番号：5J.J9P05.001
モジュール付きのオリジナルランプ（取付準備完了）
180日間保証

21,930円から

コードをスキャンするかアクセスする

www.mplamps.co.jp/projector-lamps/Benq/MX666%2B.html

表示価格は、このページが作成された時の価格です。現在の価格はサイトをご確認ください。

ネットワーク プロジェクター
取扱説明書

目次

準備. 4
プロジェクターをコンピュータに接続する. 4
有線接続. 4
ワイヤレス接続（選択したモデルの場合）. 5
QPresenter 8
最低システム要件. 8
QPresenter のダウンロード. 8
QPresenter のインストール. 9
PC の場合. 9
MAC の場合. 9
QPresenter の使い方. 9
ウェブブラウザからプロジェクターを遠隔操作する. 13
Web コントロールロックの使用方法 20
コンピュータ スクリーンのコンテンツを投写する. 22
1 台のプロジェクーで 1 つのコンピュータスクリーンを表示. 22
1 台のプロジェクターで最大で 4 台のコンピュータスクリーンを表示 (選択したモデルの場合). 22
1 つのコンピュータ スクリーンを最大で 8 台のプロジェクターに表示 (選択したモデルの場合). 23
1 つのコンピュータスクリーンを最大で 255 台のプロジェクターに表示（選択したモデルの場合）. 23
USB ケーブルを使ってコンピュータのコンテンツを表示する（選択したモデルの場合）. 24
対応する解像度. 24
システム要件. 24
投写ログイン コードの使用方法 25
USB カメラの使い方（選択したモデルの場合）. 25

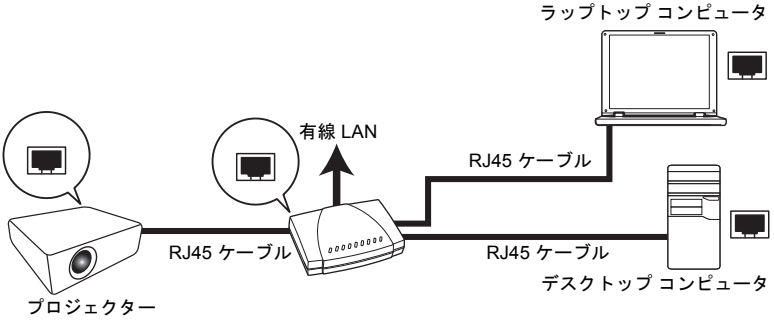
PJLink コマンド 27
ワイヤレスプロジェクション（特定モデルのみ）. . 28
NFC 搭載のスマートフォン / タブレットの場合 28
NFC 非搭載のスマートフォン / タブレットの場合 30
コンピュータの場合 31

準備

この BenQ プロジェクターには有線および無線ネットワーク機能が装備されています。リモートコンピュータが同一の LAN に正しく接続されている場合は、このコンピュータから Web ブラウザを使ってプロジェクターを管理したり、操作したりすることができます。また QPresenter を使ってコンピュータのコンテンツをプロジェクターに送信することもできます。

プロジェクターをコンピュータに接続する

有線接続



DHCP 環境の場合：

1. RJ45 ケーブルでプロジェクターの RJ45 LAN 入力ジャックと、Ethernet またはルーターの RJ45 ポートを接続してください。
2. 次のいずれかの手順に従ってください。
   - リモコンで **NETWORK SETTING** を押します。すると**ネットワーク設定**ページが表示されます。
   - **MENU/EXIT** を押して、**システム設定 : 詳細**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。▼ を押して**ネットワーク設定**を選択し、次に **MODE/ENTER** を押してください。すると**ネットワーク設定**ページが表示されます。
3. **有線 LAN** を選択し、**MODE/ENTER** を押します。
4. **状態**が**接続**になっていることを確認してください。
5. ▼ を押して、**DHCP** を選択し、次に ◀/▶ を押して**オン**を選択してください。
6. ▼ を押して**適用**を選択し、次に **MODE/ENTER** を押してください。
7. 再び**ネットワーク設定** > **有線 LAN** ページに入ります。すると **IP アドレス**、**サブネットマスク**、**既定のゲートウェイ** および **DNS** 設定が表示されます。**IP アドレス** 列に表示される IP アドレスを書き留めておいてください。

   それでも **IP アドレス** が表示されない場合は、ITS 管理者にお問い合わせください。

非 DHCP 環境の場合：

1. 上記のステップ 1-4 の手順に従ってください。
2. ▼ を押して、**DHCP** を選択し、次に ◀/▶ を押して**オフ**を選択してください。
3. ITS 管理者から **IP アドレス**、**サブネットマスク**、**既定のゲートウェイ**、**DNS** 設定などの情報を取得してください。
4. ▼ を押して調整したいアイテムを選択し、**MODE/ENTER** を押します。
5. ◀/▶ を押してカーソルを動かし、▲/▼ を押して値を入力します。
6. 設定を保存するには、**MODE/ENTER** を押します。設定を保存しない場合は、**MENU/EXIT** を押します。
7. ▼ を押して**適用**を選択し、次に **MODE/ENTER** を押してください。

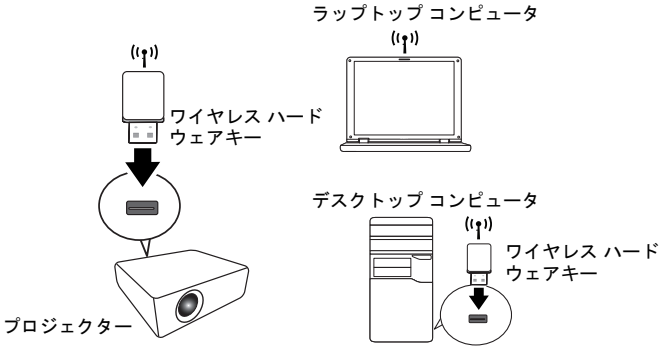
上記の手順に従った後はプロジェクターは LAN に接続されますので、同一 LAN に接続されている他のコンピュータからもアクセスできるようになります。

ワイヤレス接続（選択したモデルの場合）

1. BenQ ワイヤレス ハードウェアキー（別売り）をプロジェクターの USB Type A コネクタに接続します。
2. 次のいずれかの手順に従ってください。
   - リモコンで **NETWORK SETTING** を押します。すると**ネットワーク設定**ページが表示されます。
   - **MENU/EXIT** を押して、**システム設定 : 詳細**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。▼ を押して**ネットワーク設定**を選択し、次に **MODE/ENTER** を押してください。すると**ネットワーク設定**ページが表示されます。
3. **ワイヤレス LAN** を選択し、**MODE/ENTER** を押します。
4. **状態**が**接続**になっていることを確認してください。
5. **SSID ディスプレイ** が「オン」になっていることを確認してください。
6. **SSID** 情報が表示されていることを確認してください。デフォルトの **SSID** は「NetworkDisplay」です。
7. ▼ を押して、**接続モード**を選択し、次に ◀/▶ を押して **AP** または**インフラ**を選択してください。
8. ▼ を押して**適用**を選択し、次に **MODE/ENTER** を押してください。

選択した**接続モード**により、2 つの方法で手続きを続行できます。

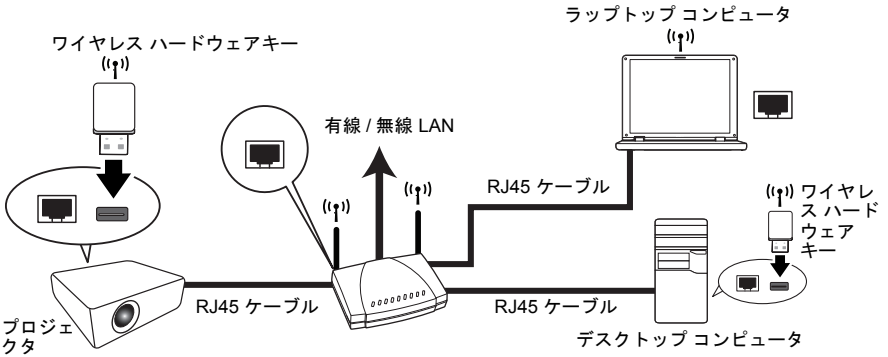
AP モード



このプロジェクターはワイヤレス LAN アクセスポイントとして使用（プロジェクタのデフォルト設定）することもできます。このモードではプロジェクターはワイヤレス LAN を確立し、コンピュータをこのワイヤレス LAN に接続させます。

1. BenQ ワイヤレス ハードウェアキー（別売り）がプロジェクターの USB Type A コネクタに接続されていることを確認してください。
2. **SOURCE** を押してソース バーを表示し、**ネットワーク表示**を選択して **SSID** にアクセスします。デフォルトの **SSID** は 「NetworkDisplay」です。
3. コンピュータからプロジェクターの **SSID** でワイヤレス LAN を検出します。
4. ワイヤレス ネットワーク接続画面で 「接続」をクリックします。

インフラモード



このモードではプロジェクタは LAN に接続し、同一 LAN 上の他のコンピュータからアクセスできるようになります。

1. RJ45 ケーブルを RJ45 ポートに、またはワイヤレスドングルをプロジェクタの USB ポートに接続します。
2. プロジェクタが LAN に接続されていることを確認します。

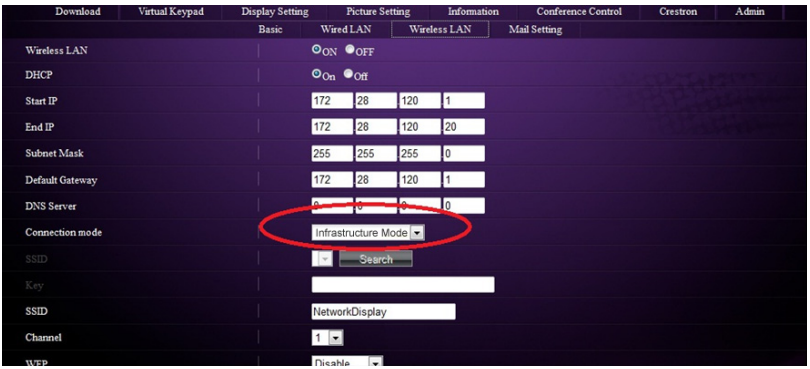
3. ブラウザのアドレスバーにプロジェクターのアドレスを入力し、Enter を押します。



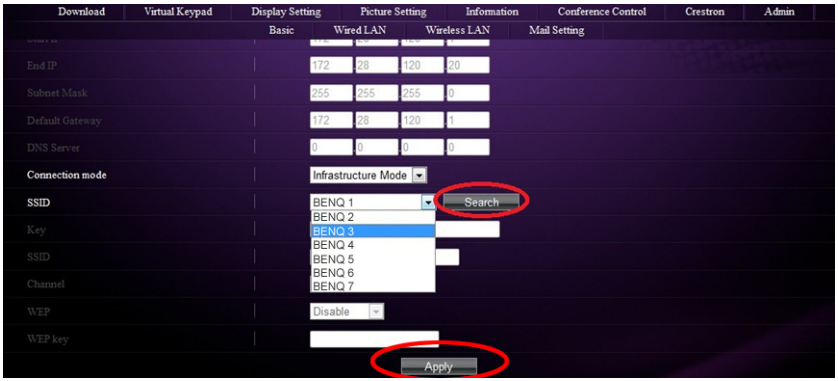
4. Projector Network Display System の管理者ページを開き、ログインします。

詳細は、18 ページを参照してください。

5. ワイヤレス LAN ページを開き、**接続モード**を**インフラ モード**に変更します。



6. 「SSID 列で検索」をクリックすると、使用可能なワイヤレス アクセス ポイントが表示されます。検索結果リストで任意の SSID をクリックし、「適用」をクリックします。



7. コンピュータから同じ SSID を選択します。
8. QPresenter を開き、正しいプロジェクターを検索して「接続」をクリックします。

QPresenter

QPresenter はホスト PC で実行するアプリケーションです。このアプリケーションはコンピュータを有効なネットワーク プロジェクターに接続し、ローカル ネットワーク接続を介してデスクトップの内容またはオーディオ信号をネットワーク プロジェクターに転送します。

最低システム要件

- 対応 OS：Windows® XP 32 ビット /64 ビット、Windows® 7 32 ビット /64 ビット、Windows® 8、Mac OS 10.5、Mac OS 10.6、Mac OS 10.7。
- CPU：Intel Pentium 4、3.0G CPU（プロジェクターのスピーカーを介して 1:1 オーディオ出力可能）、Core2 Duo 2.40GHz CPU（放送機能用）
- メモリ：1 GB（プロジェクターのスピーカーを介して 1:1 オーディオ出力可能）または 2 GB（放送機能用）
- HDD の空き領域：32 MB 以上
- Web ブラウザ：Internet Explorer バージョン 7、8 または 9（Java プラグインをインストールして JavaScript を有効にしておくこと）、Safari 5.1.2.

ユーザー環境によっては対応できない場合があります。各 PC/ ノートブック毎に互換性が異なります。

QPresenter のダウンロード

いくつかの方法でダウンロードできます。

- プロジェクターから

このプロジェクターには Mac 版の QPresenter も用意されています。Mac コンピュータを使用すると、プロジェクターが自動的に Mac 版の QPresenter をダウンロードします。

i. コンピュータをプロジェクターに接続します。詳細は、4 ページの「プロジェクターをコンピュータに接続する」を参照してください。

ii. ブラウザのアドレスバーにプロジェクターのアドレスを入力し、Enter を押します。



iii. Projector Network Display System の管理者のページに入ります。

iv.「ダウンロード」アイコンをクリックします。

- ユーザーマニュアル CD から（選択したモデルの場合）
  i. プロジェクターに付帯されていたユーザーマニュアル CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
  ii. QPresenter-Broadcast.setup をダウンロードします。
- BenQ.com から
  i. お住まい地域の BenQ.com にアクセスし、QPresenter の最新バージョンをダウンロードします。

QPresenter のインストール

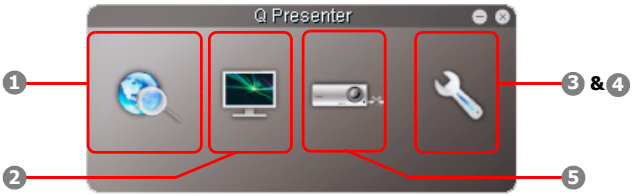
PC の場合

1. ダウンロードが完了したら、exe ファイルをクリックします。
2. 「次へ」をクリックします。
3. ライセンス同意書の条件に同意するために、「同意します」をクリックします。
4. 「次へ」をクリックしてコンポーネントをインストールします。
5. 「次へ」をクリックしてインストール パスを確認します。
6. Qpresenter のユーザー名とパスワードを設定し、「次へ」をクリックします。
7. 「インストール」をクリックして処理を完了します。

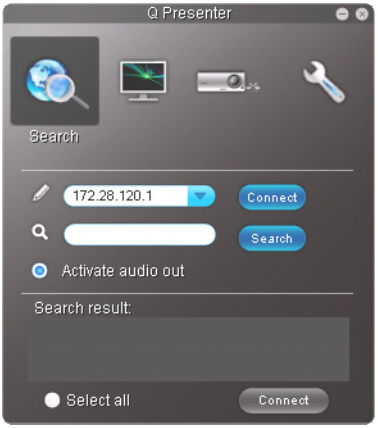
MAC の場合

1. ダウンロードが完了したら、dmg ファイルをクリックします。
2. そのファイルをダブルクリックすると、QPresenter と呼ぶディスク イメージをマウントします。
3. コンテンツを表示するには、QPresenter ディスク イメージをダブルクリックします。

QPresenter の使い方



1. 検出ページでは、プロジェクターを検出して接続できます。



- プロジェクターに接続するには、プロジェクターの IP アドレスを入力し、「接続」をクリックします。
- プロジェクターを検出するには、「検索」をクリックするだけで同一ＬＡＮ 上のプロジェクターがすべてリストされます。検索結果リストで任意のプロジェクターをクリックし、「接続」をクリックします。また任意のプロジェクター名を入力し、「検索」をクリックすることもできます。
- プロジェクターのスピーカーからサウンドを出力させるには、「オーディオ出力をアクティベートする」をクリックします。

  QPresenter の Mac バージョンはこの機能に対応していません。

2. 特殊機能ページでは、投写画像を管理するための高度な機能を使用できます。



- 全画面で表示するには、「全画面」をクリックします。
- 画面の一部を表示するには、「選択可」をクリックします。画面に矩形の枠が表示されます。サイズを調整し、投写したい場所に合わせてください。

  オーディオ出力がアクティベートされているときにはこの機能は使用できません。

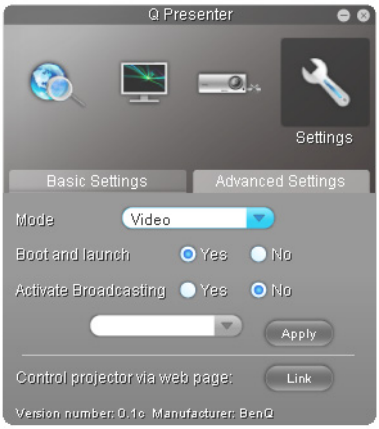
- 投写を一時停止するには、「一時停止」をクリックします。
- プロジェクターに複数のコンピュータが接続されている場合は、1、2、3、4、L、R、または全画面をクリックして、表示場所を選択することができます。(選択したモデルの場合)

3. 基本設定ページでは、QPresenter を設定できます。



- リモート デスクトップ機能を有効にするには、「はい」をクリックします。コンピュータの名前とパスワードを入力します。プロジェクターの OSD メニュー **システム設定 : 詳細** > **ネットワーク設定** > **リモート デスクトップ**を開き、**アカウント**（コンピュータの名前）および**パスワード**を入力して、**接続**を選択した後、**MODE/ENTER** を押します。
- QPresenter では、大文字アルファベットと 0-9 の数字 8 文字以内で構成される名前と、1 から 4 までの 6 桁で構成されるパスワードしか設定できません。
- QPresenter インターフェイスの言語を変更するには、下向き矢印をクリックしてドロップダウン リストを開き、言語を選択します。次に「適用」をクリックします。
- 通知メッセージを表示するには、「はい」をクリックします。次に 「適用」をクリックします。
- 複数のプロジェクターにコンピュータ スクリーンを表示するには、「1:N ディスプレイをアクティベート」をクリックします。次に 「適用」をクリックします。同時に最大 8 台のプロジェクターを表示できます。(選択したモデルの場合)

4. 詳細設定ページでは、QPresenter を設定できます。



- 静止画を表示するには、下向き矢印をクリックしてドロップダウン リストを開き、「グラフィック」を選択します。次に 「適用」をクリックします。ビデオクリップを表示するには、下向き矢印をクリックしてドロップダウン リストを開き、「ビデオ」を選択します。次に 「適用」をクリックします。
  グラフィック モード：画質は劣りますが、通信速度は速くなります。
  ビデオ モード：画質は良くなりますが、通信速度は遅くなります。
  ただし、実際の通信速度はその時のネットワークのトラフィック状態によります。
- キャプチャレートを調整するには、スライドバーを動かします。ネットワークの帯域によっても性能は影響を受けます。
- コンピュータのオペレーティング システムを起動したときに QPresenter を起動するには、「はい」をクリックします。次に 「適用」をクリックします。
- 放送機能を使用するには、23 ページの「1 つのコンピュータスクリーンを最大で 255 台のプロジェクターに表示（選択したモデルの場合）」を参照してください。
- Projector Network Display System の Web ページにリンクするには、「リンク」をクリックします。

5. 切断

   プロジェクターから接続を解除するには、「切断」アイコンをクリックします。

- QPresenter を使用する前に、他の仮想ネットワーク制御プログラムをオフにしておいてください。
- QPresenter および USB ディスプレイを正常に機能させるためには、PC のファイヤーウォールを無効にしておく必要があります。
- 現時点は、Pixelworks はワイヤレス キーボード マウス コンボには対応していません。

ウェブブラウザからプロジェクターを遠隔操作する

放送出力がアクティベートされているときにはこの機能は使用できません。

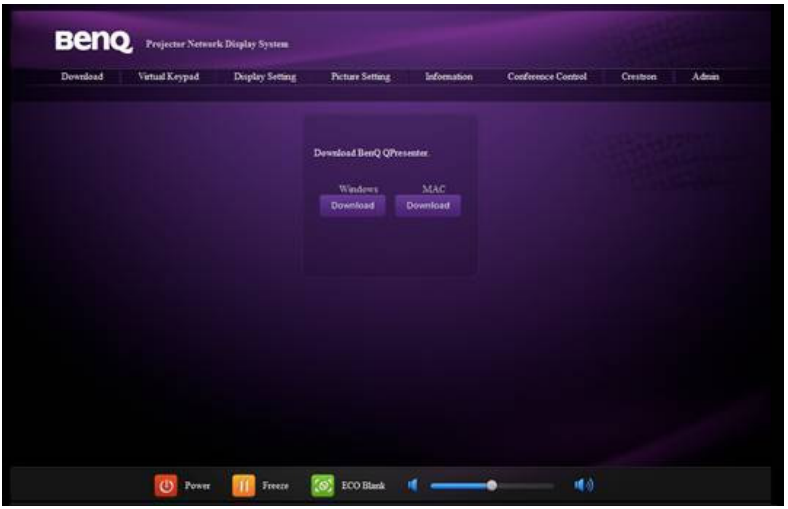
プロジェクターの正しい IP アドレスを取得し、プロジェクタをオンまたはスタンバイモードに設定した後は、同一 LAN に接続されているコンピュータを使ってプロジェクターを操作することができます。

- 次の Web ブラウザを使用していることを確認します : Microsoft Internet Explorer (7.0, 8.0, 9.0)、Chrome (18.0)、Safari (5.1.2)、Firefox (10.0)。
- 本書に掲載されるスクリーンショットは参照用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。

1. ブラウザのアドレスバーにプロジェクターのアドレスを入力し、Enter を押します。



2. Projector Network Display System のメインページが表示されます。このウェブページからは、ワンクリックで各種機能にアクセスできます。

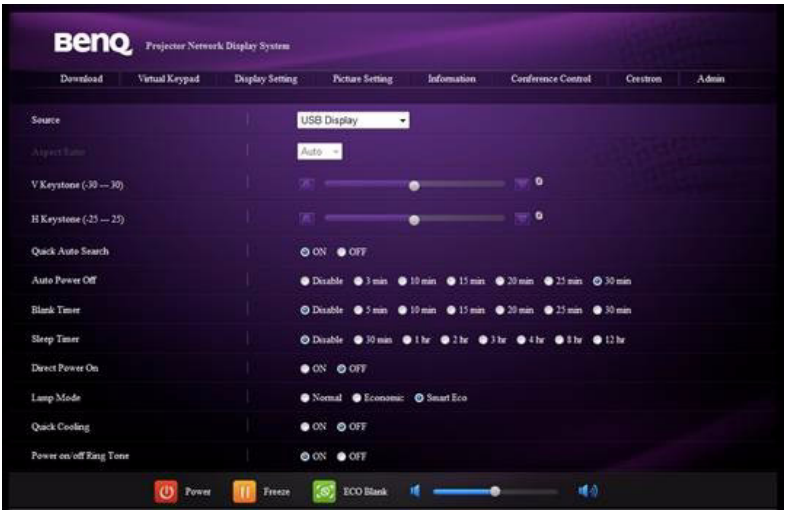


3. コンピュータに QPresenter ソフトウェアを保存するには、「ダウンロード」をクリックします。詳細は、9 ページの「QPresenter のインストール」を参照してください。

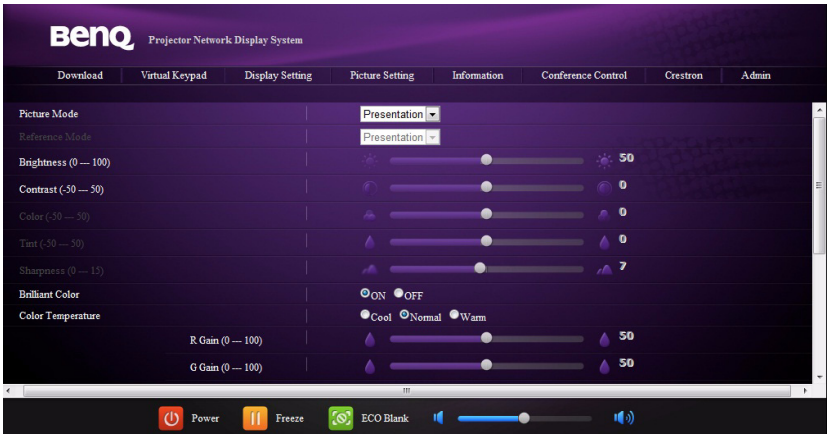
4. 仮想キーパッド ページには、プロジェクターの実際のキーパッドを使用した場合と同じようにプロジェクターを操作できる、仮想キーパッドが表示されます。操作方法については、ユーザーガイドの「制御装置および機能」を参照してください。



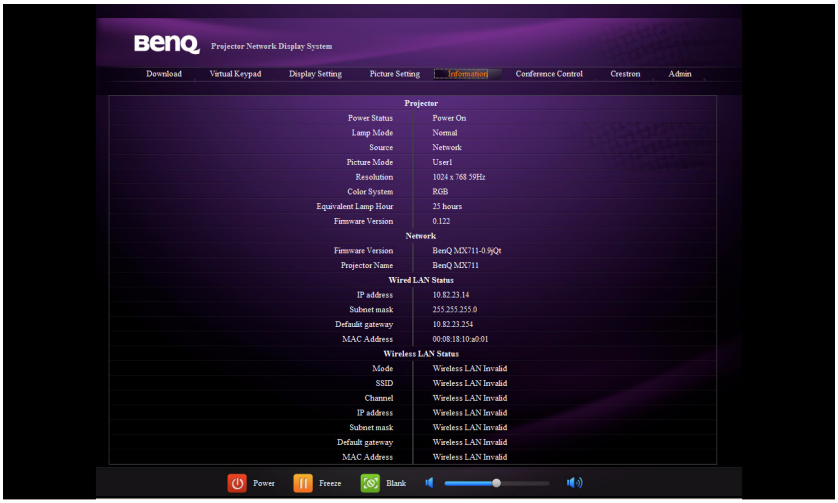
5. ディスプレイ設定ページには、プロジェクターを操作したり、投写画像を調整したりするのに必要な OSD メニュー アイテムが表示されます。これらの使い方については、ユーザーガイドの「メニューの操作」の章を参照してください。



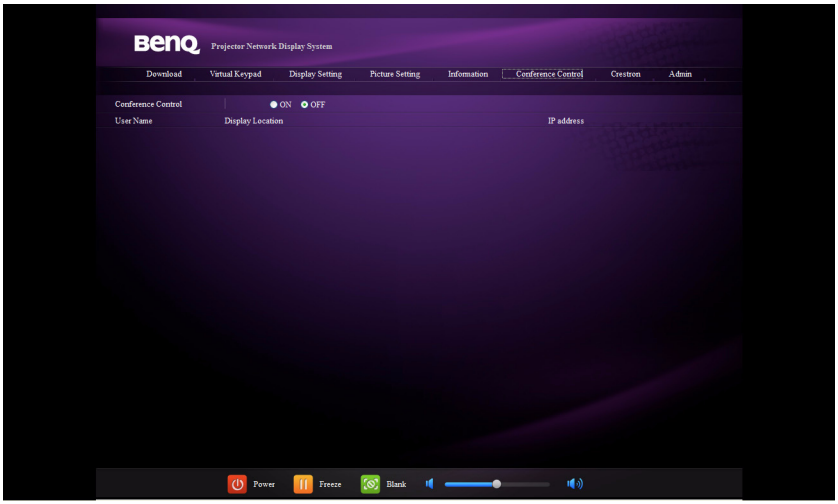
6. 画像設定ページでは、投写画像を調整するのに必要な**ピクチャ**メニューのすべての OSD メニュー項目が表示されます。これらの使い方については、ユーザーガイドの「メニューの操作」の章を参照してください。



7. 情報ページには、プロジェクターの状態、ネットワークの状態が表示されます。



8. 会議制御ページでは、1 台のプロジェクターに複数のユーザーが接続している場合、同一 IP アドレス上におけるディスプレイ場所を制御することができます。



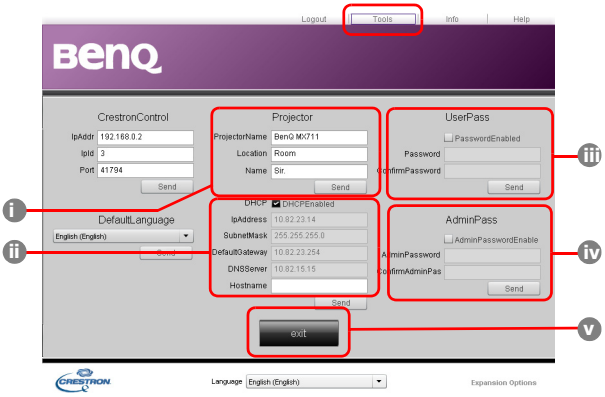
9. Crestron（eControl）ページでは、Crestron eControl ユーザー インターフェイスが表示されます。eControl ページでは、プロジェクターを操作したり、投写画像を調整したりするための各種仮想キーを使用できます。



i. これらのボタンは、OSD メニューやリモコンのボタンを同じように作動します。詳細については、ユーザーガイドの「制御装置および機能」を参照してください。
ii. 入力ソースを切り替えるには、任意の信号をクリックしてください。
iii. ソフトウェアは複数の言語に対応しています。

前の OSD メニューに戻り、メニュー設定を保存して終了するには、メニューボタンを使用することもできます。

ツールページでは、このプロジェクターでプロジェクターを管理したり、LAN 操作の設定を行ったり、リモートネットワーク操作のセキュアアクセスを設定したりすることができます。



i. プロジェクターに名前を付けたり、プロジェクターの場所や担当者を追跡したりすることができます。

ii. **ネットワーク設定**を調整することができます。

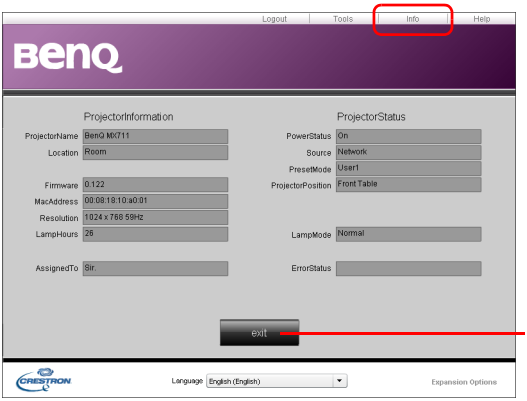
iii. パスワードを設定すると、このプロジェクターのリモートネットワーク操作がパスワードで保護されます。

iv. パスワードを設定すると、ツールページへのアクセスがパスワードで保護されます。

調整後は、「送信」ボタンを押すとデータがプロジェクターに保存されます。

v. **終了**を押すと、リモートネットワーク操作ページに戻ります。

情報ページには、このプロジェクターの情報と状態が表示されます。



Exit（終了）を押すと、リモートネットワーク操作ページに戻ります。

詳細は、http://www.crestron.com と www.crestron.com/getroomview をご覧ください

10. 管理者ページにアクセスするには、パスワードを入力する必要があります。このページでは他のネットワークを設定することも可能です。デフォルトのパスワードは「0000」です。パスワードを変更するには、基本ページに入ってください。

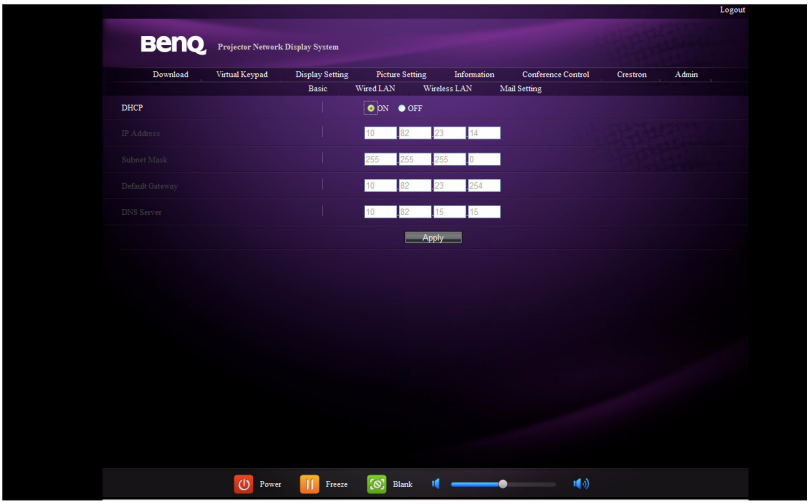


基本ページでは、パスワードを変更したり、接続するコンピュータの最大数を設定したりすることができます。接続するコンピュータの数によっては、ネットワークのディスプレイ性能に影響が出る場合があります。ここでは**放送**、**投写ログイン コード**、**AMX デバイス検索**と **USB カメラ** (選択したモデルの場合) の設定も調整できます。

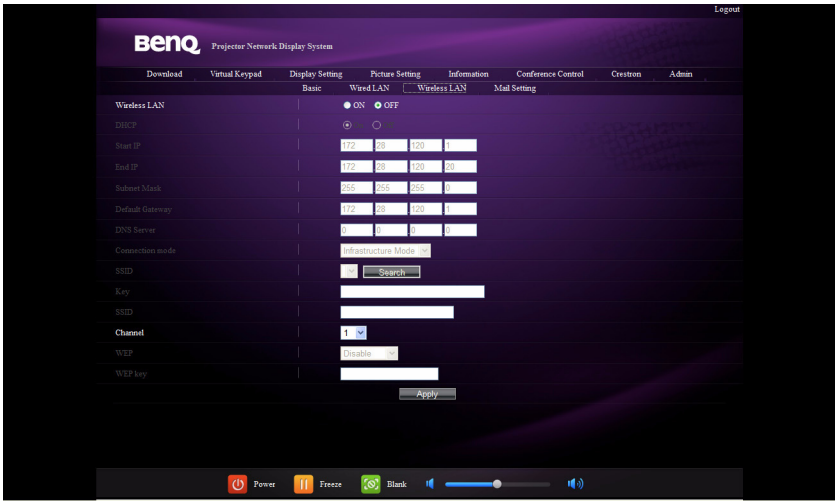


有線 LAN ページでは、有線 LAN の設定を調整できます。

WEP 暗号化のみサポートされています。

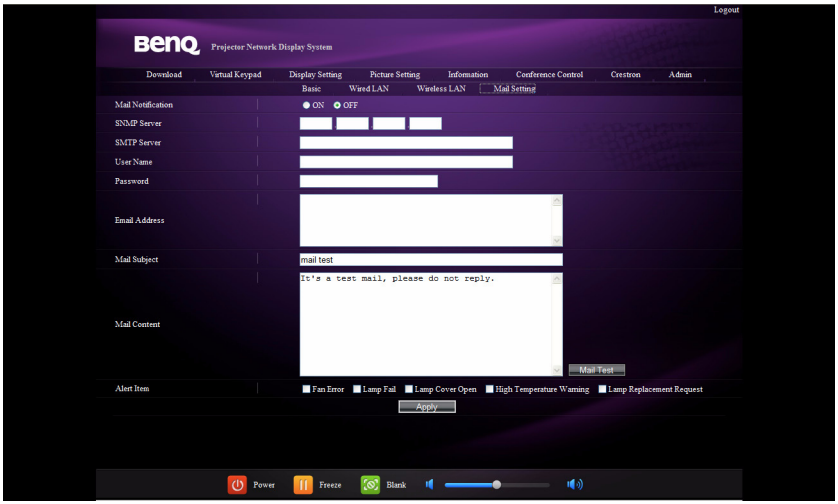


ワイヤレス LAN ページでは、ワイヤレス LAN の設定を調整できます。



SSID の最大長は 16 バイトです。ワイヤレス LAN を介して複数のプロジェクタを接続する場合は、異なる SSID を使用してください。

メール ページでは、ITS 管理者に警告メールを送信できます。



まずあなた自身でテストメール機能を使って警告メールが正常に機能するかどうかを確認してください。

11. これらのクイック ボタンは、プロジェクターを操作できるように常にウェブページにあります。



Web コントロールロックの使用方法

この機能は、許可されないユーザーが Projector Network Display System を介してプロジェクターの設定を故意に変更するのを防止します。

この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。

1. コンピュータをプロジェクターに接続した後、ブラウザのアドレスバーにプロジェクターのアドレスを入力し、Enter を押します。
2. Projector Network Display System の管理者のページに入ります。
3. 現在のパスワードを入力してください。
4. コントロールロック列で**オン**をクリックします。

次回このプロジェクターに接続すると、Projector Network Display System ページには一部の機能だけが表示されます。

この機能を無効にするには、次の手順にしたがってください。

1. Projector Network Display System の管理者のページに入ります。
2. 現在のパスワードを入力してください。
3. コントロールロック列で**オフ**をクリックします。

この機能は、OSD メニューからも切り替えることができます。

1. OSD メニューを開いた後で**システム設定 : 詳細** > **セキュリティ設定** > **セキュリティ設定の変更**メニューをひらきます。**MODE/ENTER** を押します。すると「パスワードの入力」というメッセージが表示されます。現在のパスワードを入力してください。
2. パスワードが正しく入力されると、OSD メニューの**セキュリティ設定** ページに戻ります。▼ を押して、**Web コントロール ロック**を選択し、次に ◀/▶ を押して**オン**または**オフ**を選択してください。

コンピュータ スクリーンのコンテンツを投写する

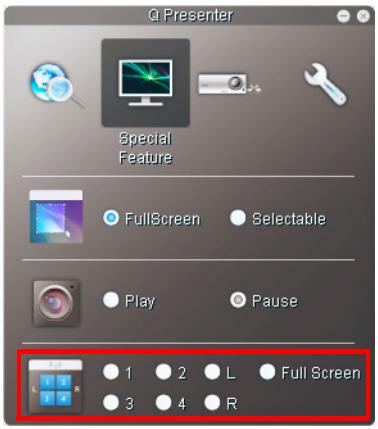
1 台のプロジェクターで 1 つのコンピュータスクリーンを表示

1. コンピュータをプロジェクターに接続します。詳細は、4 ページの「プロジェクターをコンピュータに接続する」を参照してください。
2. QPresenter がダウンロード、インストールされていることを確認してください。詳細は、8 ページの「QPresenter のダウンロード」と 9 ページの「QPresenter のインストール」を参照してください。
3. アイコンをクリックして QPresenter を起動します。
4. プロジェクターの IP アドレスを入力し、「接続」をクリックします。または「検索」をクリックするだけで同一 LAN 上のプロジェクターがすべてリストされますので、プロジェクターを検出することができます。検索結果リストで任意のプロジェクターをクリックし、「接続」をクリックします。また任意のプロジェクター名を入力し、「検索」をクリックすることもできます。
5. プロジェクターのスピーカーからサウンドを出力させるには、「オーディオ出力をアクティベートする」をクリックします。

1 台のプロジェクターで最大で 4 台のコンピュータスクリーンを表示 (選択したモデルの場合)

投写スクリーンを 4 つのパートに分けて、接続している 4 台のコンピュータすべてのスクリーンコンテンツを同時に投写することができます。

1. 各コンピュータをプロジェクターに接続します。詳細は、4 ページの「プロジェクターをコンピュータに接続する」を参照してください。
2. QPresenter がダウンロード、インストールされていることを確認してください。詳細は、8 ページの「QPresenter のダウンロード」と 9 ページの「QPresenter のインストール」を参照してください。
3. アイコンをクリックして QPresenter を起動します。
4. プロジェクターの IP アドレスを入力し、「接続」をクリックします。または 「検索」をクリックするだけで同一 ＬＡＮ 上のプロジェク



ターがすべてリストされますので、プロジェクターを検出することができます。検索結果リストで任意のプロジェクターをクリックし、「接続」をクリックします。また任意のプロジェクター名を入力し、「検索」をクリックすることもできます。

5. 接続が完了したら、QPrensenter の特殊機能ページを開き、1、2、3、4、L、R、または全画面をクリックして表示位置を決定します。

1 つのコンピュータ スクリーンを最大で 8 台のプロジェクターに表示 (選択したモデルの場合)

1. プロジェクターをインフラ モードで、有線接続またはワイヤレス接続で同一 LAN に接続します。詳細は、4 ページの「プロジェクターをコンピュータに接続する」を参照してください。
2. コンピュータを同一 LAN に接続します。
3. QPresenter がダウンロード、インストールされていることを確認してください。詳細は、8 ページの「QPresenter のダウンロード」と 9 ページの「QPresenter のインストール」を参照してください。
4. アイコンをクリックして QPresenter を起動します。
5. 「設定」>「基本設定」メニューを選択します。
6. 「1:N ディスプレイをアクティベート」をクリックした後で 「適用」をクリックします。



1 つのコンピュータスクリーンを最大で 255 台のプロジェクターに表示（選択したモデルの場合）

これが放送機能です。この機能はコンピュータのスクリーン コンテンツを同一 LAN と同一チャンネルに接続されているプロジェクターに最大 255 台まで送信できます。

- この機能を使用するには、特別版の QPresenter が必要です。取扱説明書 CD からダウンロードしてください。
- この機能はネットワーク表示ソースが選択されている場合にしか使用できません。
- コンピュータの最低要件は、Intel Core 2 Duo 2.4GHz CPU、2G DDR です。

1. プロジェクターを有線接続で同一 LAN に接続します。
2. プロジェクター毎に特定のチャンネルを選択します。

i. OSD メニューを開いた後で**システム設定 : 詳細** > **ネットワーク設定**メニューをひらきます。**MODE/ENTER** を押します。

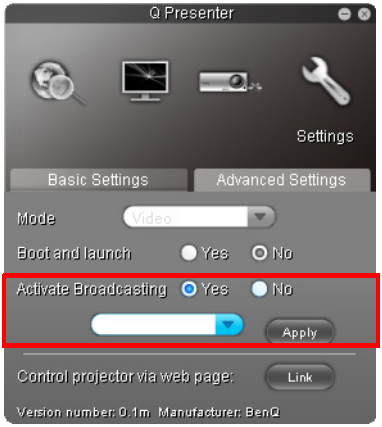
ii. ▼ を押して、**放送**を選択し、次に ◀/▶ を押して**オン**を選択してください。

または

i. Projector Network Display System を開き、基礎ページを開きます。

ii. **放送**列で**オン**をクリックし、ドロップダウンリストからチャンネルを選択します。

3. コンピュータ上で QPresenter がダウンロード、インストールされていることを確認してください。詳細は、8 ページの「QPresenter のダウンロード」と 9 ページの「QPresenter のインストール」を参照してください。
4. アイコンをクリックして QPresenter を起動します。
5. 「設定」>「詳細設定」を選択します。
6. 「放送をアクティベートする」で「はい」をクリックします。
7. ドロップダウン リストから同じチャンネルを選択し、「適用」をクリックします。



USB ケーブルを使ってコンピュータのコンテンツを表示する（選択したモデルの場合）

1. USB ケーブルをコンピュータに接続し、もう方端をプロジェクターの USB mini B ポートに接続します。
2. **SOURCE** を押して、ソースバーで **USB ディスプレイ**を選択してください。
3. PC でマイコンピュータを開き、BenQ QPresenter アイコンをダブルクリックします。
4. プロジェクターが自動的にコンピュータのコンテンツを表示します。

対応する解像度

投写されるコンピュータスクリーンは、自動的に 1024 x 768 にスケールされます。

システム要件

オペレーティングシステム

- Windows XP SP2、Windows Vista SP1、Win7 32/64 ビット Win8。
- Mac 10.5、10.6、10.7、10.8。

ハードウェア用件

- USB 2.0 のサポート

- ディスク容量 :20MB のハードドライブ空き容量

プロジェクタのスピーカーを通した 1:1 オーディオ出力の場合

- CPU:3.0GHz
- RAM:1G MB

放送機能の場合

- CPU: コアデュアル 2.4GHz
- RAM:2G MB

投写ログイン コードの使用方法

この機能は正しいプロジェクターを介して確実にネットワーク表示ができるようにするためのものです。この機能を切り替えるには、次の手順にしたがってください。

1. OSD メニューを開いた後で**システム設定 : 詳細** > **ネットワーク設定** メニューをひらきます。**MODE/ENTER** を押します。
2. ▼を押して、**投写ログイン コード**を選択し、次に ◀/▶ を押して**オン**または**オフ**を選択してください。

この機能がオンになっているときには、ソースをネットワーク表示に切り替えると、プロジェクターが右上隅にランダムに 4 桁のコードを作成します。プロジェクターに接続したときに、QPresenter でこの 4 桁のコードを入力する必要があります。

USB カメラの使い方（選択したモデルの場合）

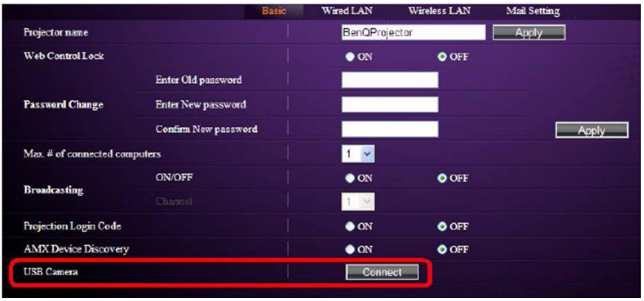
- 放送出力がアクティベートされているときにはこの機能は使用できません。
- 次の Web ブラウザを使用していることを確認します : Microsoft Internet Explorer (7.0, 8.0, 9.0)、Chrome (18.0)、Safari (5.1.2)、Firefox (10.0)。

1. USB カメラをプロジェクターの USB Type A ポートに接続します。サポートされる USB カメラについては、http://www.ideasonboard.org/uvc/#footnote-1 をご覧ください。

2. Projector Network Display System を開き、ログインします。



3. 基礎ページを開き、USB カメラ列で**「接続」**をクリックします。USB カメラで撮影した画像はポップアウト ページに表示されます。



PJLink コマンド

このプロジェクターは、プロジェクターを操作できるように標準のプロトコル PJLink に対応しています。対応するコマンドは次のとおりです。

☞ 下記の対応コマンドは、モデル毎に異なります。

コマンド	説明	パラメーター
POWER OFF	電源をコントロールします。	0 = Power Off
POWER ON	電源をコントロールします。	1 = Power On
Power?	電源状態をクエリーします。	0 = Power Off 1 = Power On 2 = Cooling down 3 = Warm up
INPT	入力切替コマンドです。	11 = VGA1 12 = VGA2 21 = SVideo 22 = CVBS 31 = HDMI 51 = CARD_READER 52 = LAN DISPLAY 53 = USB DISPLAY
INPT?	現在の入力切替状態をクエリーします。	
AVMT	ミュート コントロールです。	10 = Video mute off 11 = Video mute on 20 = Audio mute off 21 = Audio mute on 30 = Video & Audio mute off 31 = Video & Audio mute on
AVMT?	現在のミュートの状態をクエリーします。	
LAMP?	ランプ時間数をクエリーします。	Lamp hour
INST?	入力切替を有効にするリストをクエリーします。	Return "11 12 21 22 31 51 52 53"
NAME?	プロジェクター名をクエリーします。	Return "Digital Projector"
INF0?	解像度情報をクエリーします。	Return "Education Series"
INF1?	マーカー名をクエリーします。	Return "BenQ"
INF2?	モデル名をクエリーします。	Return model name as below, "BenQ Projector"
CLSS?	クラス情報をクエリーします。	Return "Version"
ERST?	エラー状態をクエリーします。	Error Status
GET ALL	すべての状態をクエリーします。	Return all "?" items

ワイヤレスプロジェクション（特定モデルのみ）

たった数ステップで、ワイヤレスでスマートデバイスまたはコンピュータから特定のファイルを投影することができます。

コンピュータの使用により、あらゆるファイルの投影が可能です。ただし、動画再生の際には、ストリーミングが低速化することがあります。

スマートデバイスを使用して投影できるファイルは次の通りです：

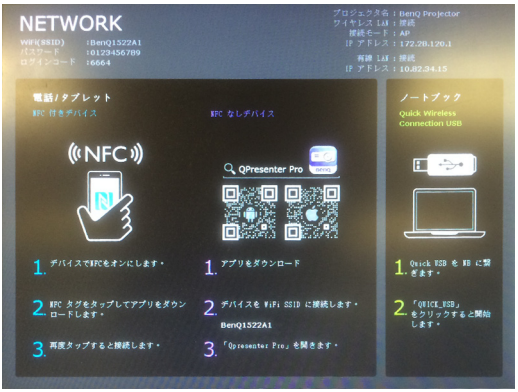
- Adobe PDF
- Microsoft PowerPoin、Word、Excel
- Apple iWork '09（Pages '09、Number '09、Keynote '09）
- .png、.gif、.bmp、.tif、.tiff、または、.jpeg 形式の画像

ワイヤレスディスプレイの出力形式は、モデルによって異なります。入力信号に応じて、黒い帯または広がった画像が、映し出される場合があります。

NFC 搭載のスマートフォン / タブレットの場合

- クイックワイヤレス NFC キットには、NFC ワイヤレスドングル、NFC カード、NFC ステッカー、および、クイック USB が含まれます。
- クイックワイヤレス NFC キットは、特定の地域でのみ購入可能となっています。詳細は、販売店までお問い合わせください。
- NFC 技術を使用するには、スマートデバイスを NFC ワイヤレスドングルまたは NFC ステッカーから、2 cm 以内に置かなければなりません。

1. クイックワイヤレス NFC キットを準備し、プロジェクタの USB タイプ A ポートに NFC ワイヤレスドングルを差し込んでください。
2. プロジェクタの**ソース**を押して、**ネットワーク表示**を選択します。下の画像が表示され、プロジェクタは接続可能な状態となります。



3. スマートデバイスで NFC 機能を有効にします。
4. 初めて使用する場合は、スマートデバイスを NFC ワイヤレスドングルまたは NFC ステッカー上にタップし、「tapNshow App」とポップアップ表示されるまで待ってください。「QPresenter Pro」のダウンロード指示が表示されます。画面上の指示に従い、スマートデバイスで、ダウンロードを完了させてください。

5. スマートデバイスを NFC ワイヤレスドングルまたは NFC ステッカーにタグ付けし、WiFi を通して、接続が確立されるまで待機します。
6. 「QPresenter Pro」が自動的に開きます。プロジェクタアイコンを押して、プロジェクタを選択します。



7. これで、スマートデバイスはプロジェクタに接続され、プレゼンテーションの開始準備が整いました。



プロジェクタに以下の画面が表示されたら、ファイルのプレゼンテーション準備完了です。



8. 詳細情報は、http://orwww2.benq.com にアクセスしてください。**Products (製品)** > **Projectors (プロジェクタ)** > **Accessory (アクセサリ)** > **Wireless Dongle (ワイヤレスドングル)** > **Quick Wireless NFC kit (クイックワイヤレス NFC キット)** または **Products (製品)** > **Projectors (プロジェクタ)** > **Wireless Projection (アプリ &サポート** > **ワイヤレ投写)** 選択します。

WiFi の SSID は、BenQXXXXXX です。XXXXXX は、NFC ワイヤレスドングルの MAC アドレスの下 6 桁です。

天井取り付けプロジェクタの NFC カード

必要に応じて、追加の NFC ステッカーをお近くの販売店で購入することもできます。「tapNshow Writer」をダウンロード可能です。アプリを Google Play からダウンロードし、NFC ステッカーと NFC ワイヤレスドングルをプログラムおよびペアリングすることができます。

クイックワイヤレス NFC キットには、NFC ステッカーおよび NFC カードが含まれます。

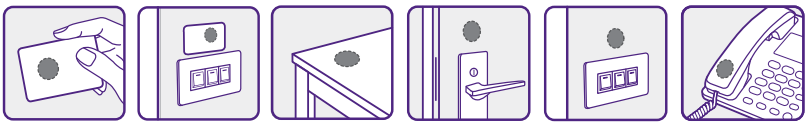


NFC
ステッカー

NFC チップが内部に含まれています。NFC ステッカー / カードを折り曲げたり、金属または熱い物体の上に置いたりしないでください。

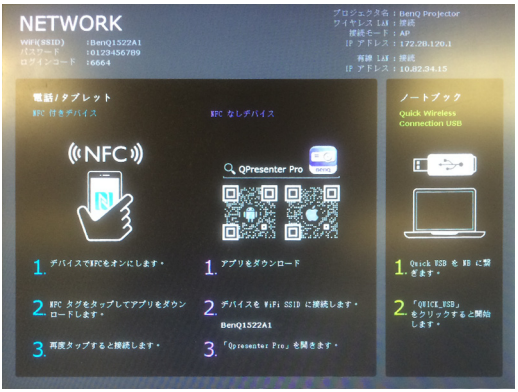
NFC ステッカーの繰り返しの使用は避けてください。内部の NFC チップが損傷する可能性があります。

- NFC ステッカーは NFC カードの上に貼り付けることができます。NFC カードを壁に貼り付けたり、ぶら下げるすることで、NFC 機能搭載スマートデバイスとプロジェクタ間のクイック接続を行うことができます。このカードを壁に貼り付けたり、ぶら下げたりすることができます。
- 会議室の電話の上、または、照明スイッチの近くなど、必要に応じて NFC ステッカーを配置または貼り付けてください。プロジェクタが大きな会議室内に天井取り付けられている場合、特に有用です。

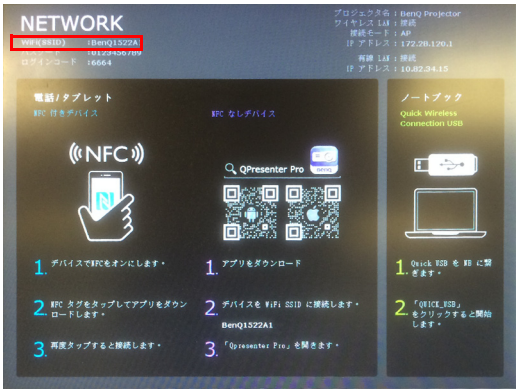


NFC 非搭載のスマートフォン / タブレットの場合

1. NFC ワイヤレスドングルまたはワイヤレスドングルをプロジェクタの USB タイプ A ポートに差し込みます。
2. プロジェクタの**ソース**を押して、**ネットワーク表示**を選択します。下の画像が表示され、プロジェクタは接続可能な状態となります。



3. 初めて使用する場合は、Google Play または App Stored で「QPresenter Pro」を検索、または、プロジェクタから投写される QR コードをスキャンして、「QPresenter Pro」をダウンロードしてください。画面上の指示に従い、スマートデバイスで、ダウンロードを完了させてください。
4. スマートデバイスの WiFi 設定を調整して、プロジェクタに接続します。右上隅に表示される WiFi SSID 名を選択します。



5. スマートデバイス上で「QPresenter Pro」を開きます。「QPresenter Pro」を使用するには、上記の手順 6 から 8 に従ってください。

コンピュータの場合

プロジェクタ上での設定

1. NFC ワイヤレスドングルまたはワイヤレスドングルをプロジェクタの USB タイプ A ポートに差し込みます。
2. プロジェクタの**ソース**を押して、**ネットワーク表示**を選択します。下の画像が表示され、プロジェクタは接続可能な状態となります。



コンピュータ上での設定

1. クイック USB をコンピュータの USB タイプ A ポートに差し込みます。
2. 「マイコンピュータ」で「クイック USB」を開きます。

3. Windows システムをお使いの場合は、「start_windows」を実行します。Mac システムをお使いの場合は、「start_mac」を実行します。
4. ソフトウェアがデフォルト WiFi SSID 名「**NetworkDisplay**」を使って、コンピュータからプロジェクタへの自動接続を試みます。



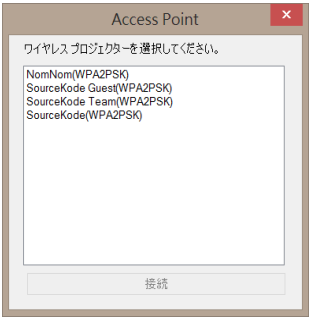
5. 正常に接続された後、「QPresenter」が自動的にポップアップ表示され、自動検索が実行されます。
6. **OK** をクリックして確定すると、コンピュータ画面がワイヤレスで投写されます。詳細は、8 ページの「QPresenter」を参照してください。

BenQ プロジェクタの WiFi SSID 名が「**NetworkDisplay**」ではなく、このプロジェクタに初めて接続する場合、以下の手順に従って自動ペアリングを実行する必要があります。

1. 上記手順 1 から 4 を実行します。
2. WiFi SSID 名「**NetworkDisplay**」を持つプロジェクタが見つからないため、警告メッセージが表示されます。

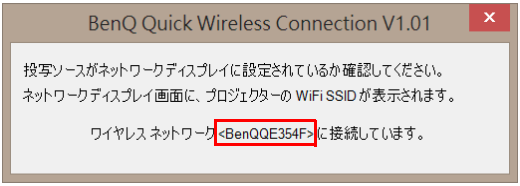


3. **OK** をクリックすると、WiFi アクセスポイントの一覧が表示されます。



4. プロジェクタにより投写される画像に表示される SSID 名と同じ SSID を持つプロジェクタを選択します。
5. **接続**をクリックし、上記手順 5 から 6 を実行します。

6. 次回、クイック USB を使用する際、コンピュータは、自動的にこの新しい名前を持つプロジェクタへの接続を試みます。



ワイヤレスプロジェクション接続

1. 右上隅の閉じるボタンをクリックして、QPresenter ウィンドウを閉じます。
2. **OK** をクリックして、確認します。
3. クイック USB をコンピュータから取り外します。次のユーザーが容易にアクセスできるように、所定の場所に保管してください。

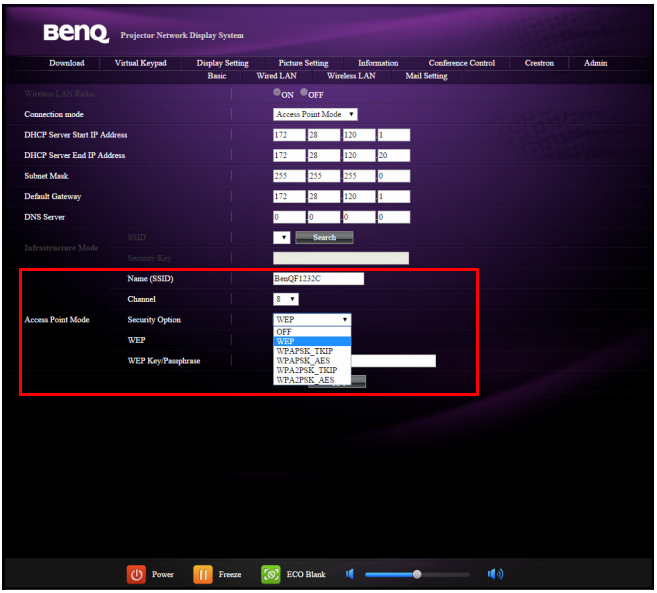
システム要件

- サポートされるオペレーティングシステム :Windows XP SP3、Vista、7、8 および 8.1。MAC 10.7、10.8 および 10.9。
- サポートされる CPU:Intel Pentium Dual Core 1.8 GHz またはそれ以上。
- WiFi:802.11n

詳細設定およびトレーニング資料は、www.benq.com にアクセスしてください。**Products (製品)** > **Projectors (プロジェクタ)** > **Accessory (アクセサリ)** > **Wireless Dongle (ワイヤレスドングル)** > **Quick Wireless Connection USB (クイックワイヤレス接続 USB)** に進みます。クイック USB を紛失した場合、ここで最新のソフトウェアをダウンロードすることができます。

☞ プロジェクタ用のパスワードを設定する上での注意事項

プロジェクタネットワークディスプレイシステムのワイヤレス LAN ページでパスワードを設定している場合、スマートデバイスまたはコンピュータが WiFi を使用してプロジェクタに接続しようとする際、正しいパスワードを入力するよう求められます。



低セキュリティが低いので、**セキュリティオプション**行で **WEP** を選択しないようにしてください。**WEP** を選択した場合、スマートフォンは、NFC ステッカーを使って、プロジェクタの WiFi に接続できません。